

第2 記録写真

【火災初期の状況】

3月14日 15時40分頃



【現場到着時の様子】

3月14日 16時10分 高塚海岸付近
南署タンク車小隊ウェアラブルカメラ画像



【名古屋へりによる上空からの撮影】

3月14日 16時59分 伊古部海岸付近 ※画像提供：名古屋市消防航空隊



【ドローンによる上空からの撮影】

3月14日 16時59分 高塚海岸付近



3月15日 11時20分 伊古部海岸から高塚海岸



伊古部海岸付近



高塚海岸付近

【消火活動の様子】

3月14日 16時30分 高塚海岸付近
南署タンク車小隊 ウエアラブルカメラ画像



3月14日 16時52分 高塚海岸付近
南署タンク車小隊 ウエアラブルカメラ画像



3月14日 17時00分 伊古部海岸付近
前芝タンク車小隊 ウエアラブルカメラ画像



3月14日 17時26分 伊古部海岸付近
名古屋市消防航空隊 散水1回目



3月14日 17時45分 高塚海岸付近
南署救助工作車小隊 ウエアラブルカメラ画像



3月14日 17時50分 伊古部海岸付近
前芝タンク車小隊 ウエアラブルカメラ画像



3月14日 18時30分 伊古部海岸付近
前芝タンク車小隊 ウエアラブルカメラ画像（赤外線）

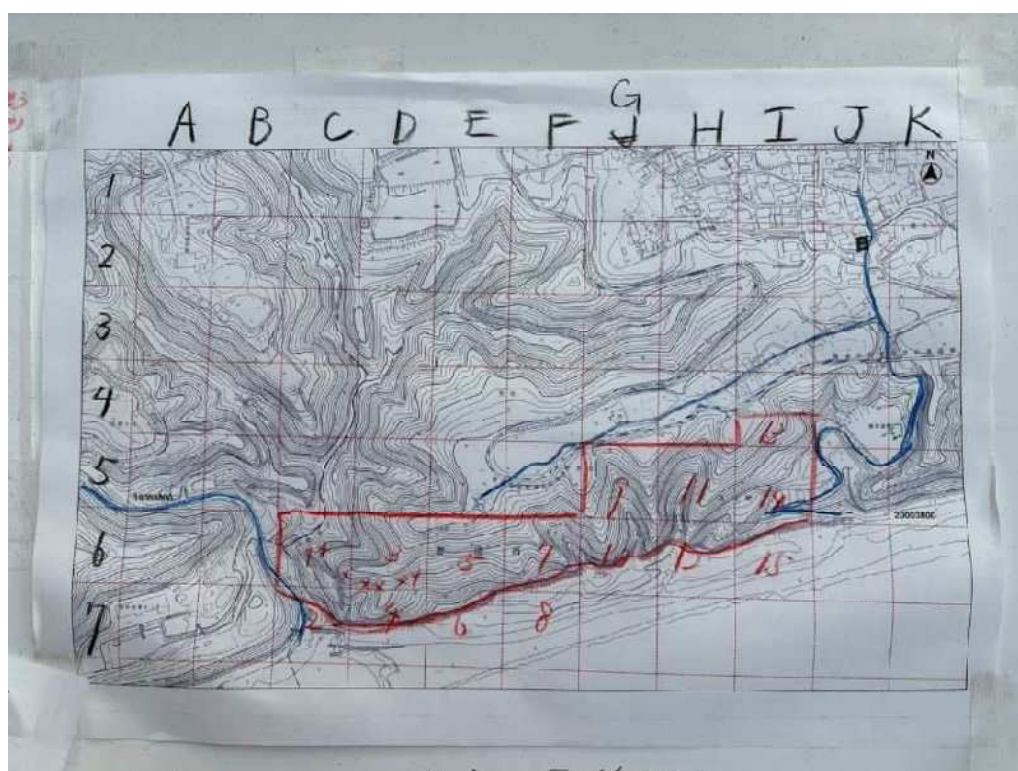
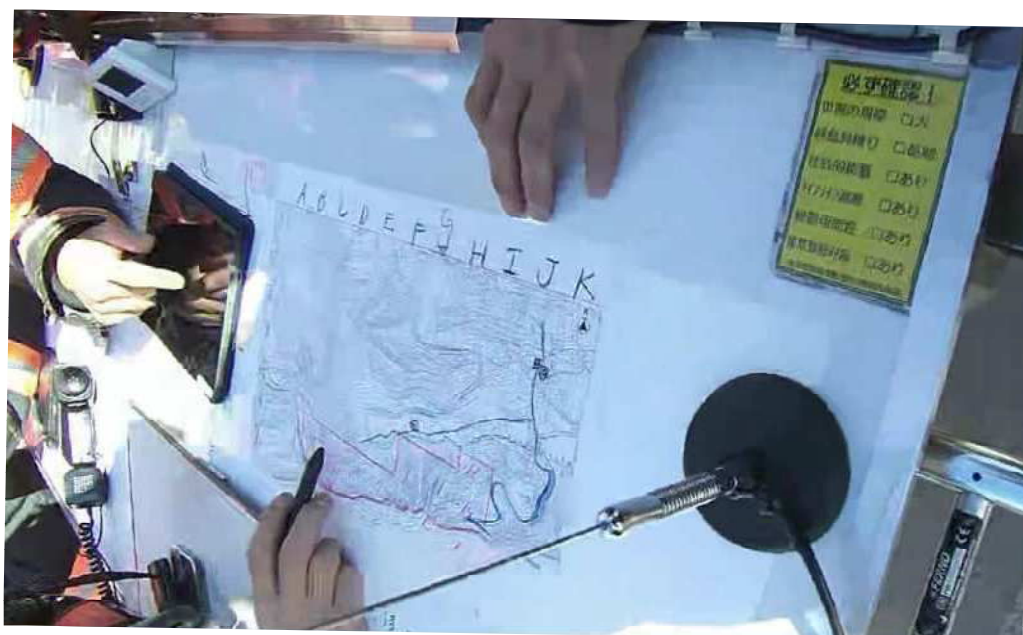


【現場交代の様子】

3月15日 9時15分 伊古部海岸 現場指揮本部にて



【活用した UTM グリッドマップ】



第3 高塚町林野火災の概要について

令和8年3月14日に高塚町で発生した林野火災は、約2.8ヘクタールを延焼し、発生から4日後の3月18日に鎮火した火災である。

1 各機関の延べ台数・人員

機 関		延べ台数	延べ人員
消火部隊	消防本部	61台	234名
	消防団	4台	67名
指揮本部			25名
市災害対策本部			26名
消防防災航空隊		4機	26名
田原市消防本部		6台	14名
愛知県警察		10台	36名

(内訳：事務局15名、広報班6名、物資食料班2名、土木班3名)
(内訳：愛知ヘリ1機7名、名古屋ヘリ2機11名、三重ヘリ1機8名)

※ 田原市消防本部は、田原市内の白谷海浜公園において、消防防災ヘリコプターの離発着に伴うヘリ支援活動を行った。

2 火災の概要

(1) 火災発生日時等

項 目	日 時
発生時刻	令和8年3月14日(土) 15時25分頃
覚知時刻	令和8年3月14日(土) 15時46分
鎮圧時刻	令和8年3月15日(日) 17時00分
鎮火時刻	令和8年3月18日(水) 14時00分

(2) 出火場所

高塚町字荒谷地内

(3) 被害状況

林野被害	約2.8ヘクタール
人的被害	なし
建物被害	なし

(4) 出火原因

炭火の不始末

3 現場の模様

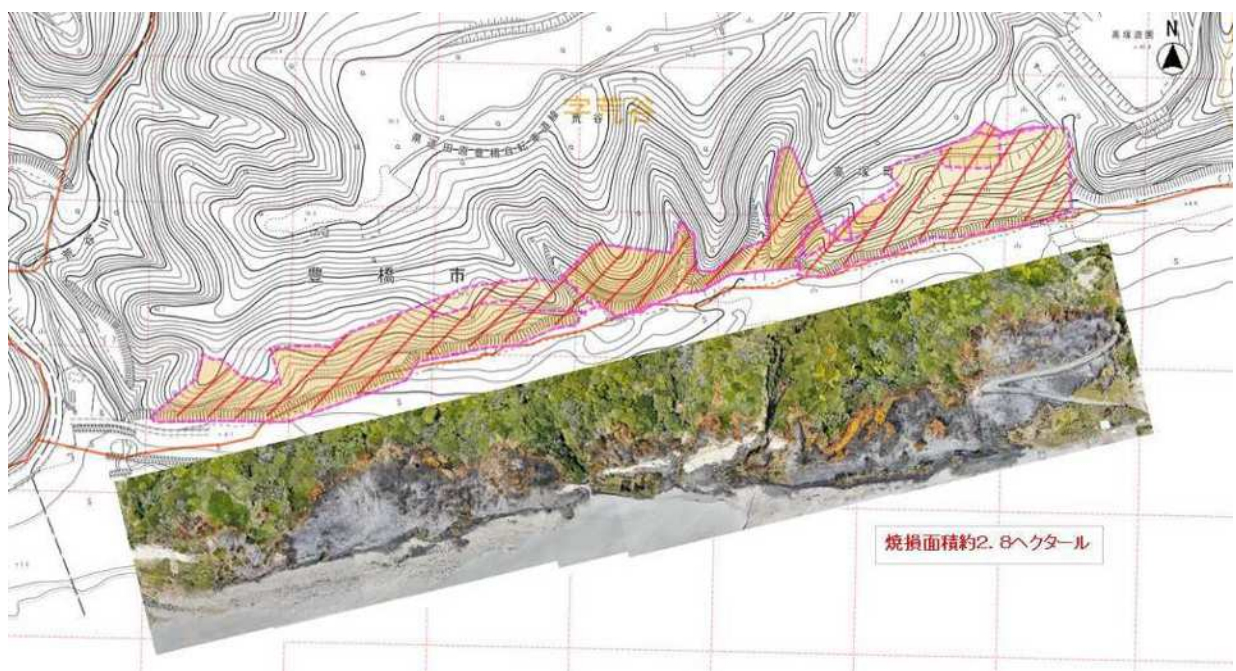
現場は、本市の南部に位置し、豊橋市南消防署から南西へ約7,700メートル、豊橋市野外教育センターから東へ約350メートルの地点で、伊古部海岸から高豊漁港海岸（以下「高塚海岸」という。）までの東西約660メートル、南北約82メートルに渡る地点である。

水利状況は、火災現場から半径140メートル以内に水利は無く、国道42号から各海岸へと南下する道路は、伊古部海岸へは道路幅約6メートル、高塚海岸へは道路幅約3メートルとなっているが、両海岸を東西に結ぶ道路は存在せず、海食崖を境に崖上は林野、崖下は砂浜での活動となるため、消防活動上非常に困難な地域である。

4 気象の概況

出火した3月14日の豊橋市は、市内から富士山が確認できるほど雲が無く、空気の澄んだ晴れの天気であった。豊橋市では、3月7日頃から一日の最小湿度が20％前後で空気の乾燥した状態が続いており、3月7日から14日にかけて乾燥注意報の発表が継続されていた。災害発生時の3月14日15時46分の気象状況については、気温14.4℃、湿度39.1％、西南西の風、風速6.2メートル毎秒であった。また、降雨量も、1月の月降水量は0mm、2月の月降水量も50mmで、記録的な降水状況であり、特に直近8日間は降水量が観測されなかった。

【災害全体図】



第4 グリッドマップについて

1 経緯

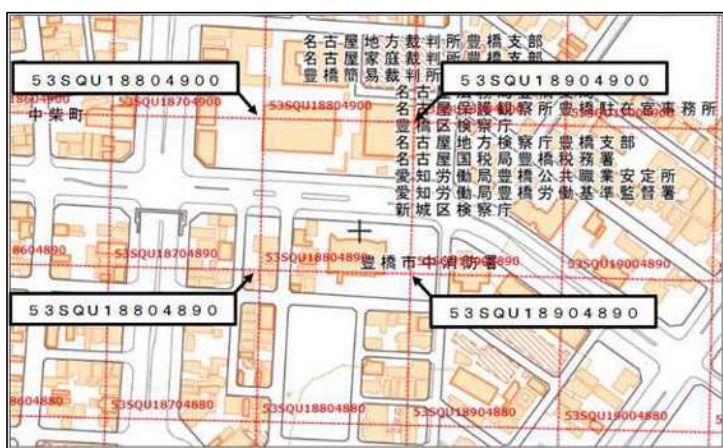
令和3年2月に栃木県足利市で発生した大規模林野火災を受け、消防庁は「より効果的な林野火災の消火に関する検討会」を設置、その検討結果を踏まえ令和4年7月25日「林野火災の予防及び消火活動について」の改正通知を発出した。

2 本市の対応

第4-1の改正通知を受け、「林野火災活動マニュアル」の改正（令和6年4月1日）を行い、活動におけるUTMグリッドマップの活用について記載した。

また、活動隊が使用するモバイル端末のGoogleマップ（Rマップ）にも同様のグリッド線を表示可能とし、全活動隊が共通の地図情報を活用できるように整備した。

【UTM グリッドマップ】（P13参照）



【Rマップ】



※ UTMグリッドマップとは、全世界共通のUTM（Universal Transverse Mercator：ユニバーサル・トランスバース・メルカトル）座標系を基に、地図上に格子状のグリッドを表示し、位置情報を正確に共有するための地図です。

3 林野火災での活用

今回の林野火災は、指揮本部が作成したUTMグリッドマップに、数字及びアルファベットを付記し活用することで、地上部隊と航空部隊との地空連携が向上した。

活動隊がRマップを活用し、UTMグリッドマップ上に自隊の位置情報を取得することで、効果的な活動につながった。

【UTM グリッドマップ】 地上部隊と航空隊の共有地図 当該地図を使用して空中消火の位置を共有した。

A B C D E F G H I J K

